

会 議 録 ( 概 要 )

|           |  |  |
|-----------|--|--|
| 会議の名称     | 平成18年度長岡京市地域健康福祉推進委員会児童福祉部会  |  |
| 開催日時      | 平成18年10月26日(木)<br>午後2時00分開会～午後4時00分閉会  |  |
| 開催場所      | 長岡京市役所 4階 大会議室B  |  |
| 部会長       | 安藤和彦委員   |  |
| 出席者       | 安藤和彦委員、藤井恵美子委員、森脇キヨノ委員、室園芳宏委員、阿部太一委員、浅田泰生委員、大久保敏夫委員、富岡友美委員、植松真紀委員、岡崎進委員、安藤ルリ子委員 (以上11名)  |  |
| 欠席者       | 工藤充子委員、三代潤子委員、小山雅美委員、八木 昭委員、小川史顕委員、中川法子委員  |  |
| 議題(案件)    | (1)あいさつ<br>(2)長岡京市次世代育成支援行動計画17年度事業概要報告について<br>(3)その他  |  |
| 配布資料      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長岡京市次世代育成支援行動計画(新・健やか子どもプラン)平成17年度事業概要報告書(案)</li> <li>・ 上記報告書の誤植・追記</li> <li>・ 参考資料(つどいの広場・子育てサポート情報コーナー・子育てふれあいルーム)</li> </ul> |  |
| 議 事 の 経 過 |  |  |
| 発言者       | 意見要旨   |  |
| 事務局       | (開会)   |  |
| 事務局       | 1)あいさつ   |  |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童福祉部会員を紹介する。</li> <li>・ ただ今より議事に入ります。ここからの進行は部会長にお願いします。</li> </ul> <p>2) 長岡京市児童育成計画事業報告について</p> |
| 部会長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局よりご説明願いたい。</li> </ul>  |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長岡京市次世代育成支援行動計画（新・健やか子どもプラン）平成17年度事業概要報告書（案）に沿って、誤植・追記の確認とプロジェクターを使って平成17年度の事業報告（別紙1）。</li> </ul> |
| 部会長 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 只今の事業報告に関して質問があれば発言願いたい。</li> </ul>   |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記載されている予算額に人件費は含まれているのか。</li> </ul>   |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 含まれていない</li> </ul>  |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所の職員の人数は？</li> </ul>  |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士資格を持つ正規職員は約80名。</li> <li>・ パート・アルバイトの非常勤は約150名。</li> </ul>                                     |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正規の資格を持っておられるのか。</li> </ul>   |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パートの2～3時間勤務の方は無資格の方が多い。8時間勤務の方は資格を持っている。嘱託職員も有資格者である。</li> </ul>                                  |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人親家庭が増えている。昔は、経済的支援として母子支援策であるが、父子家庭への支援も必要である。母子支援 ひとり親家庭支援に変えて、事業の見直しを行ってはどうか。</li> </ul>      |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 父子家庭への支援も違った意味で制度が必要。</li> </ul>  |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子家庭より父子家庭が大変な部分もある。子育ての支援・保育所に入れるなど、子どもを見ていく必要があると考えている。母子支援同様、父子家庭の支援についても考えていきたい。</li> </ul>   |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅前保育所で保育を受ける側としてだが、子どもにとっての環境としては、だいぶ狭いのではないかと。伸び伸び外で遊べる環境</li> </ul>                             |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>ではないと考えている。環境について利用者の声は、事務局に届いているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 17年度から民間運営で認可保育所と同様の基準の広さで運営している。保護者からの意見は、助成をしている関係でフィードバックされている。環境については、5階に運動の場はないが、スペースのとなりの屋上にスポンジを敷いて、運動場にしている。また、バンビオの広場を利用している。運営についての苦情は把握できていると考えている。</li> </ul>                  |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者からは直接言いにくい部分がある。留守家庭児童会では保護者会で聞いた意見を、運営している所に言っている。個人的に言えるようにしてもらいたい。</li> </ul>  |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認可外施設のルールが出来ていない。苦情・要望があったら、児童福祉課が対応するとなっているので、意見があったら申し出てもらいたい。</li> </ul>  |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10か月健診は向日市・大山崎町ではあるが、長岡京市ではなくなった。お母さんは子育てについて心配しておられる。乳幼児健診の予算は641万円とあるが、10か月健診するとどのくらいの費用がかかるのか。</li> <li>・ 報告書21ページの育児支援事業の予算額は母子手帳の交付にかかっている予算か。</li> </ul>   |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見直し事業の中で、10か月健診では子どもの大きな問題がなかったなので、医師による診察をなくし、教室とした。再通知で対応してきた経緯がある。</li> <li>・ 育児支援事業は、母子健康手帳の交付の他にベビーボックスを行っているので、その費用などが多い。</li> <li>・ 10か月教室を、10か月健診とするのは即答できかねる。費用は乳幼児健診と同じ位だと思っている。</li> <li>・ 保護者の育児的な悩みは多くなってきている。</li> </ul> |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園には3才児で入る方が8割だ。1才8か月健診から初めて他人が見る。成育に関して、1才8か月健診、3歳6か月健診がどうだったのか、母に聞いている。事件に関連した話になるが、“様子を見ましょう”と先送りして、小学校に行ってしまったと思うのだが、周りからアドバイスをもらえなかったというもある。医者や保健師は親によく分かってもらえるように、これらに手を貸す丁寧な対応が必要。検診は親も行きにくいので、民生児</li> </ul>                  |

|     |  |
|-----|--|
| 委員  | <p>童委員に相談したり、アドバイスをもらえるように、地域での対応も必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に就学前健診に長岡第五小学校で当たっているが、2時間では診切れない。一人をみる時間が絶対的に足りない。</li> <li>・発達障害は5歳児でみるので、幼稚園・3歳6か月健診でもう少し突っ込んだ話ができたらと思う。幼稚園・保育所に行っている子はその辺の話が聞ける。</li> </ul>   |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・難しい話なので、“どこが対応していくか”という姿勢が問われている。</li> </ul>   |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園として、発達障害を早く見つけたほうがいいと、先生も頑張っている。</li> </ul>   |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・この事を立証している数字がある。報告書49ページの私立幼稚園心身障害児教育振興補助事業は市が独自でやっている制度。親に言って、同意書を取るのは大変である。親が出している場合もある。</li> </ul>  |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児教育の面で、就学前に学習障害が出てくる。医師の診断書を持ってこられる場合は事前に分かるが、ご両親が障害がある事を認めないこともあり、後の対応が大変になる。</li> <li>・報告書を見ていると、学校教育課の事業が少ない。</li> <li>・特別支援児は担任が頑張っているが、教務・教頭も入っている。家庭でしつけられていない子が増えている。家庭の親を育てる事が必要である。</li> <li>・就学前の子育て支援はあるが、特別支援措置は学校で出来ないのか。本校の障害児は一人っ子が多い。次の子は手がかかるので産めないと言っておられる。学校も大変になってきている。</li> </ul> |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・26ページの虐待防止対策について、予算はケース会議に対応するものか。</li> <li>・虐待の取り組み・予防についての予算は充分か。</li> <li>・事件に対する報告はどの範囲で考えられているか。</li> </ul>   |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成12年5月に虐待防止対策会議を設置、虐待防止ネットワークを構築した。ケース会議は平成17年度は5回、18年度は4回実施した。今回、あってはならない事件（佐々木拓夢ちゃん</li> </ul>  |

|   |   |
|---|---|
| <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> | <p>の件)が起こった。今後はネットワークを再構築し、より対応を強化していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予算を用意して虐待をなくせるかは難しい。人がどう動くか、地域の見守りと言っても意思疎通は難しい。このような課題を解決していくのが行政の役割である。市だけの対応は困難なので、児童相談所にかかにつないでいくか、である。平成17年の法改正で、市の役割が重くなっている。市が窓口であるとの自覚が必要。今回の事件を今後に活かしていきたいと考えていきます。</li> <li>・ 事件に対する報告は我々にも教えていただけるのか。</li> <li>・ 児童虐待対策会議での検討後、市の広報誌で市民の皆様にお知らせしたい。</li> <li>・ 虐待防止対策の予算が必要だ。児童相談所が動けていない。市の対応はどうなっているのか。</li> <li>・ 今回の一つの反省点は、大きな力になっているネットワークが欠除する事により問題点を見逃している。関係機関等と定期的な協議、連携が取れる仕組みの予算が出てくる。防止のため行政の啓発が継続的に必要であり、予算を伴う。市の対応については、権限がないので家庭に入るのは難しい。家庭訪問については、困り事が無いのか、受け手にプレッシャーをかけない事が出来ないか、今後考えていかなければならない。専門の所に聞きながら検証したい。</li> </ul> |
| <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生委員の立場では民生委員 児童相談所となっている。地域の中で発見しながら、対応が出来なかった。小さい時から、エンゼル(子育て支援センター)とも関わっている。市の中に取り組んでもらえるような方策はないか。</li> <li>・ 民生児童委員・主任児童委員さんには、非常に熱心に取り組んでもらっていた。ネットワークというのは、どこかに通報があれば働くものである、これが機能するようにしていきたい。</li> <li>・ 痛ましい事件があっただけに、子どもの過ごす安全環境の点検をお願いしたい。遊具の事故なども含め、大きな視野で子どもの安全、事故、事件を起こさないように、制度の総点検が必要。</li> <li>・ 留守家庭児童会の環境についてだが、入会の児童数が増えている。50人を超えるとクラスを分けるとなっているが、長岡第八</li> </ul>   |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | <p>小学校の留守家庭児童会は90人を超えており、一人半畳分のスペースもなく、先生の数も充分でない。事故がよく起きていないな、という感じている。点検を至急をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年、入会率が上がり20%を超えている。(P68)11クラブでは30%を超えている。数字を見るにしても、事業に対する市民ニーズが高い。宅地開発、親の就労で長八小は100人抱えている。1クラブ50人の定員を引いているが、50人を超えているクラブがほとんどである。待機児童をなくして、指導員数を増やして対応している。施設の改修、指導員の増員を考えている。</li> </ul> |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の施設で夜9時過ぎに子どもがいる状況は安全面でどうなのか。</li> <li>・留守家庭児童会の給与だが、正職員が休んで、その代替の臨時職員も休んで、そのまた代替職員を雇って、結局給与が3人分支払われている事があると聞いたことがあるが、どうなのか。</li> </ul>  |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が終わっても先生が残っている場合もある。児童、留守家庭児童が帰ったあと、学校開放などで偶然か分かりかねる。</li> </ul>   |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員各2名と障害児の人数により加配を配置している。17年度は加配24名、合計46名である。8小は9名で当たっている。代替はアルバイト対応で。臨時の臨時を雇ったりという事はない</li> </ul>   |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・9時過ぎに子どもが遊んでいるとの事だが、クラブの保護者会の会議等で子どもが遊んでいる場合がある。クラブの周りや側で遊んでいるようだ。連合会などで、子どもを見るように徹底したい。</li> </ul>  |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域をどう育てるのか、家庭をどう育てて行くのか、行政・企業の連携が一人歩きではなく、ネットワークの再構築、見直していく必要がある。</li> <li>・住民の方にどれだけ知らせていくのか、転入者についてはどうするか、この計画がより実行力のあるものにしていくために行政はしていかなければならない。</li> </ul>   |
| 事務局 | <p>3) その他<br/>つどいの広場、子育てサポート情報コーナー、子育てふれあいルームについて説明</p>  |

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育てサポート情報コーナーに登録申請を行うと、どれくらいの期間で認定が下りるのか。</li> <li>・ 利用に際しての制限はあるのか。</li> </ul>                            |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申請をいただいてから、約3日で認定が下りるが、郵送の日程を含めると1週間くらい。</li> <li>・ 利用に関する制限は、営利目的の活動でない事。政治・宗教活動を目的とするものでは無い事。</li> </ul> |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもが安全・安心なまちづくりをしていただきたい。</li> </ul>   |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次世代育成支援行動計画に基づいて、21年度までに事業を展開したい。</li> </ul>   |
| 会長  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日はご意見をいただきありがとうございました。</li> </ul> <p>(閉会)</p>   |